

CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)淀川区新高2丁目計画		
建設地	淀川区新高2丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	1,072.90 m ²		
建築面積	285.05 m ²		
延床面積	2,505.94 m ²		
構造/階数	RC造 / 地上10階		
完了年(予定)	2027年9月		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

B+
BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 88%
③上記+②以外の 88%
④上記+ 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 有

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項

総合	その他
室内はF☆☆☆☆の採用、遮音性能を有することにより住みやすい室内環境に配慮している 室外は駐輪スペースを十分に用意し、居住者が過ごしやすいうように配慮している	特になし
Q1 室内環境 内装建材にF☆☆☆☆を採用、住戸サッシはT-1を採用するなど室内環境に配慮している	Q3 室外環境 (敷地内) できる限り敷地内の緑化に努めている
LR1 エネルギー 省エネ基準に適合するように、優れた断熱材と設備を採用している	LR3 敷地外環境 駐輪場のスペースを十分に確保している
Q2 サービス性能 天井高さを高くとり、広く快適な空間としている 配管の更新対策間隔が長くなるように配慮している	
LR2 資源・マテリアル ノンフロン材を採用し、地球環境に考慮している	

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.1

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.4
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	できる限り敷地内の緑化に努め、温暖化対策に配慮	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項	断熱等性能基準:等級4	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	LED照明を採用	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 等級4 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.81	住宅部分[BEI] 0.81	非住宅部分[BEI][BEI _m] -